

1. 高速道路網の整備と連絡橋の開通

- (1) 瀬戸大橋が通っている位置を、資料Ⅰの1985年の地図に赤色の線で示してみよう。
- (2) 「自動車を使って高松市から3時間で移動できる範囲」が大きく広がったのはなぜだろうか。

(例) ・瀬戸大橋や神戸－鳴門ルートが開通したから。
・中国地方の各地を結ぶ高速道路が繋がったから。

- (3) 瀬戸大橋以外に本州と四国を結ぶルートを、資料Ⅰの1985年の地図に青色で着色しよう。また、瀬戸大橋を含めたこれらのルートをまとめて何といいますか。

本州四国連絡橋

2. 橋の開通による島での生活の変化

- (1) 資料Ⅱから読み取れることをまとめてみよう。

(例) フェリーを利用した自動車通行量が減って、橋を利用した自動車通行量が大幅に増加した。

- (2) 橋の開通によって、瀬戸内の島々に暮らす人々の生活にどのような変化が起きたのか考えてみよう。

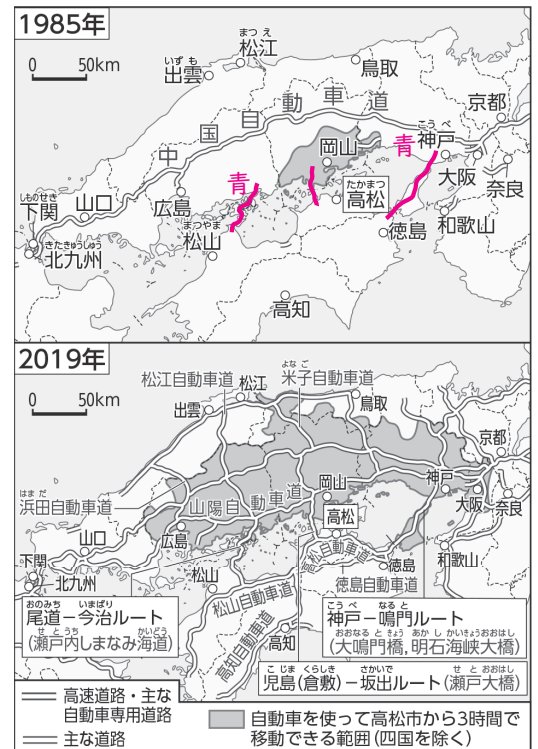
(例) ・フェリーの時間を気にせず、車で移動できるようになった。
・フェリーの航路が廃止され、自動車を持たない人や高齢者の生活が不便になった。

3. 交通網の発達による結び付きの変化

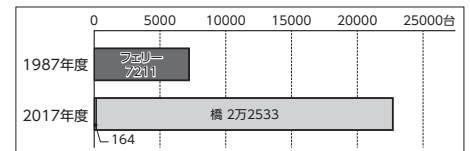
交通網の整備により、中国・四国地方と他地域との結び付きにはどのような変化が起きたのだろうか、下の表にまとめてみよう。

プラス面	マイナス面
(例) ・徳島県から高速バスで神戸市や大阪市に買い物に出かける人が増えた。 ・「阿波おどり」などを見に来る観光客が増えた。	(例) 大阪や神戸などの大都市へ買い物客が流れたことで、地方都市の消費が落ち込み、経済が衰退した。

資料Ⅰ 中国・四国地方の高速道路網と所要時間の変化



資料Ⅱ 瀬戸大橋開通前後の1日あたりの自動車通行量の変化



本時のまとめ

◆ 本州四国連絡橋の開通によって、島で暮らす人々の生活がどのように変化したのか、説明しよう。

(例) 本州四国連絡橋の開通によって、四国と本州の間での自動車による移動が容易になり、人や物の動きが活発になった。その一方で、島に暮らす高齢者の生活が不便になったり、地方都市の消費が落ち込んだりする現象もみられるようになった。